



例題と解説

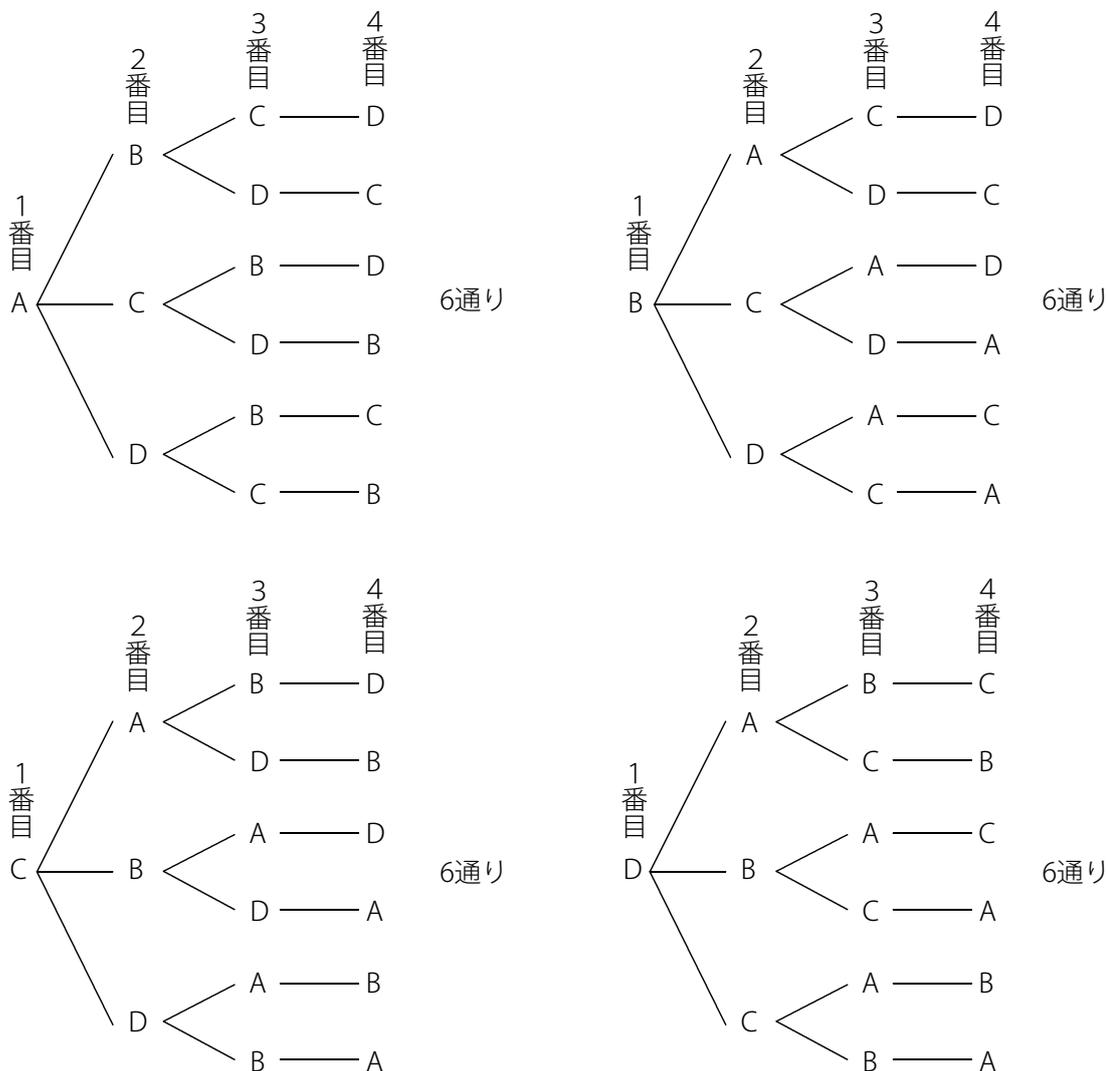
例題 1

A, B, C, Dの4人の走る順番を決めます。走る順番は全部で何通りありますか。

答え 24通り

[例題 1 の解説]

下のように^{じゆけいず}樹形図を使って何通りあるか調べましょう。





例題と解説

上の樹形図では1番目がAのとき何通りあるか、1番目がBのとき何通りあるか、1番目がCのとき何通りあるか、1番目がDのとき何通りあるかをそれぞれ書き出しています。それぞれ6通りずつあるので全部で $6 \times 4 = 24$ 通りであることがわかります。

(別解)

樹形図を使わずに書き出して数えます。考え方は樹形図と同じです。

①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
A	B	C	D	B	A	C	D	C	A	B	D	D	A	B	C
A	B	D	C	B	A	D	C	C	A	D	B	D	A	C	B
A	C	B	D	B	C	A	D	C	B	A	D	D	B	A	C
A	C	D	B	B	C	D	A	C	B	D	A	D	B	C	A
A	D	B	C	B	D	A	C	C	D	A	B	D	C	A	B
A	D	C	B	B	D	C	A	C	D	B	A	D	C	B	A
6通り				6通り				6通り				6通り			

1番目がAのとき6通り

1番目がBのとき6通り

1番目がCのとき6通り

1番目がDのとき6通り

よって全部で $6 \times 4 = 24$ 通り

このように順番が関係ある並びかえを^{じゅんれつ}順列といいます。



例題と解説

例題 2

①, ②, ③, ④の4枚のカードから2枚のカードを使って2けたの整数を作ります。
何通りの整数を作ることができますか。

答え 12通り

[例題 2 の解説]

書き出してみます。このとき十の位の数を決めてから書き出すようにしましょう。

十の位が1・・・12, 13, 14 3通り

十の位が2・・・21, 23, 24 3通り

十の位が3・・・31, 32, 34 3通り

十の位が4・・・41, 42, 43 3通り

よって全部で $3 \times 4 = 12$ 通りの整数を作ることができます。

例題 3

コインを3回投げたとき、表と裏の出方は何通りありますか。

答え 8通り

[例題 3 の解説]

表を○、裏を●として書き出してみます。

3回とも表・・・○○○ 1通り

1回だけ裏・・・○○●, ○●○, ●○○ 3通り

2回裏 ... ○●●, ●○●, ●●○ 3通り

3回とも裏・・・●●● 1通り

よって全部で $1+3+3+1=8$ 通り



例題と解説

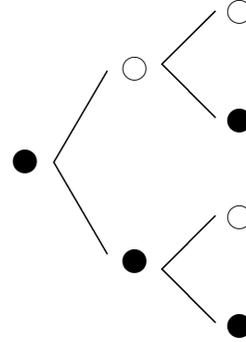
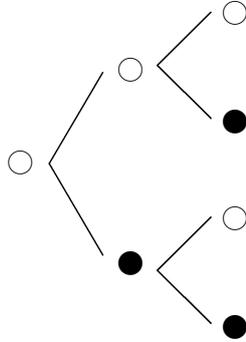
(別解)

樹形図を書きます。

1回目が表のとき4通り

1回目が裏のとき4通り

よって全部で $4 \times 2 = 8$ 通り





例題と解説

例題 4

A, B, Cの3人がジャンケンをします。手の出し方は全部で何通りありますか。

答え 27通り

[例題 4の解説]

グーを○、チョキを×、パーを□として書き出してみます。

○○○, ○○×, ○○□, ○×○, ○××, ○×□, ○□○, ○□×, ○□□
×○○, ×○×, ×○□, ××○, ×××, ××□, ×□○, ×□×, ×□□
□○○, □○×, □○□, □×○, □××, □×□, □□○, □□×, □□□

よって全部で $9 \times 3 = 27$ 通り

(別解)

樹形図を書きます。

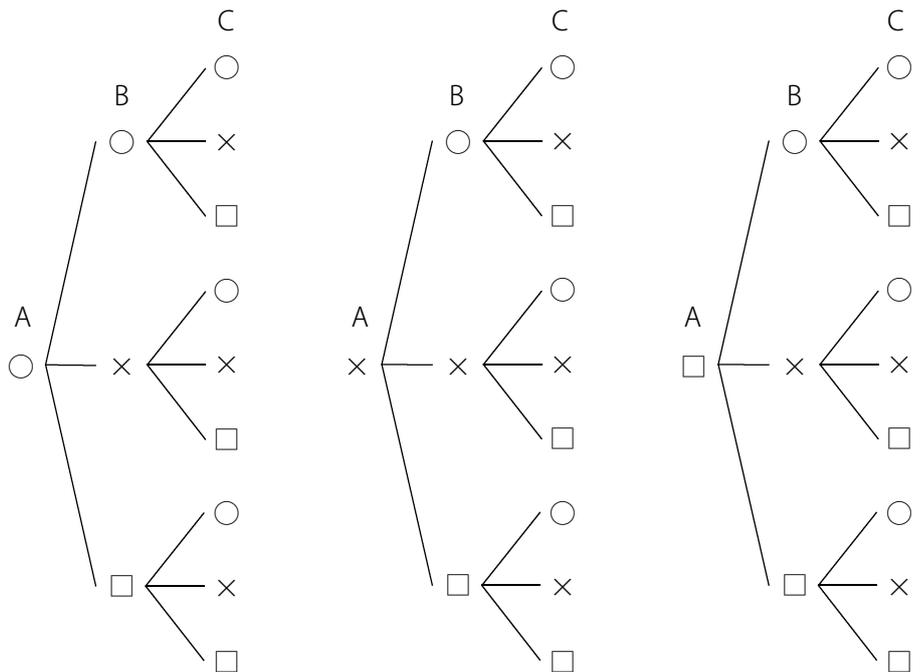
右図より

Aがグーのとき9通り

Aがチョキのとき9通り

Aがパーのとき9通り

よって全部で $9 \times 3 = 27$ 通り



先頭を決めてそれぞれ何通りあるか調べましょう。



ポイントまとめ

- ・ じゆけいず 樹形図を使うことで数えやすくなります。
- ・ 順番が関係ある並びかえを じゆんれつ 順列といいます。
- ・ 先頭を決めてそれぞれ何通りあるか調べましょう。